



新座中だより

学校教育目標
強く 明るく 考える

〒352-0011 埼玉県新座市野火止2-4-1

TEL 048-478-3668

HP <https://j-niiza-c-niiza.edumap.jp/>

新座市立新座中学校

「1月号」

令和7年1月8日発行

子どもたちは、地域にとって未来への希望の星です！

校長 金子 文春

昨年末、3年生172名を対象にした「立志の日」を開催しました。学校運営協議会委員8名と新座市内で活躍する経営者など4名を迎え、生徒が集団面接形式で対話するという授業です。この取組の目的は主に次の2つです。①「自分がどういう人間であるか」を他人に伝える力を育成し「自らの志」について真剣に考える機会をもつこと、②面識のない大人との緊張感のあるやりとりを通じて、多感な時期の3年生に学習効果の高い経験を積ませること。

3年生には、自分の長所・短所や将来の夢などの他、自分たちのふるさと「新座市」にまつわる問いを投げ掛けました。それらの中で私が最も印象に残ったのが「あなたが住む『新座市』を誇りに感じるところは？」でした。これに対して多くの生徒が「平林寺」「野火止用水」などの豊かな自然を答えます。小学生に聞いてもよく出てくる答えなので、もうしばらく待ってみました。すると、一味違った答えが新座中生から出てくるのです。

「挨拶にあふれている。温かく見守ってくださる人がいる。」

「ゴミが落ちていない。ゴミを拾ってくださる人がいる。」

「教育に熱心。ICTや空調など私たちの学びやすさを考えている。」

「信頼できる大人がいる。本当に困った時に力になってくれる。」

(「受けた恩を将来『貢献』で返したい」と発言する生徒もいました。)

授業2時間(100分)の取組でしたが、その80%は生徒の言葉で展開され、その内容も「志」を感じさせるものでした。近い将来、地域を支えてくれるであろう子どもたちの自立心・感受性は、着実に育っています。地域からお預かりした「人財」(「人材」でなく)とも言える子どもたちの姿が、私にはキラキラと輝いて見えました。

新年、明けましておめでとうございます。

「教えの過剰は、学びの過小」

この言葉のとおり、生徒の主体性や学びを第一義に置いた教育活動を展開していきます。
2025年も、どうぞよろしく願いいたします。

